

取扱説明書

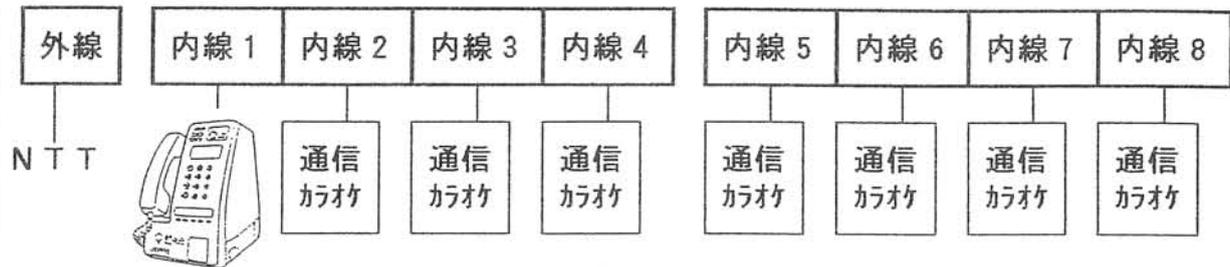
技術基準適合認定品

☆ワンポイント説明

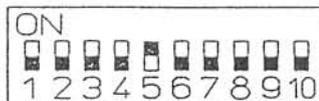
ピンク電話（一般電話／FAX）と通信カラオケの場合

①. 接続

TA-108



②. 初期設定用スイッチは初期状態（SW5のみON）



③. 詳細は、本文の「3. リモートモードでの使い方」をご覧ください。（⇒P11）

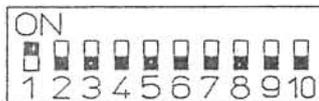
全て通信カラオケの場合

①. 接続

TA-108



②. 初期設定用スイッチはSW1のみON（SW1をONにしてSW5をOFFにする）



③. 詳細は、本文の「4. 自動モードでの使い方」をご覧ください。（⇒P12）

☆詳細については本文を必ずご覧ください。

このたびは、TA-108をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
本装置をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全にお使いいただくために必ずご使用に
先立ってお読みください。

この「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

★お願い

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

●お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



警告

安全にお使いいただくために
必ずお守りください。

- 本装置に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。 火災、感電の原因となります。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- AC100 Vの電源電圧以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
- 加湿器のそばなど湿度の高いところでは使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
- 本装置の上やそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。 こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。 また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードが傷んだらお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットなどを使用した、たこあし配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。
- 本装置の分解、改造はしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。 万一異物が入った場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください)
- 本装置の上カバーは外さないでください。 感電の原因となります。 指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- 異常音がしたり、上カバーなどが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

●万が一煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一本装置を落としたり、上カバーを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

安全にお使いいただくために
必ずお守りください。

●直射日光の当たるところや湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置を壁掛用に取り付ける場合は、本装置の重みにより落下しないようにしっかり取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。

●油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所などに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。上カバーや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●本装置を廃棄する時は、一般廃棄物として捨てないでください。廃棄時は管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して、しかるべき業者に廃棄を依頼してください。守らないと環境を破壊して、第三者の身体や財産に損害を与える原因になることがあります。

★お願い

故障の原因になることがあるため必ずお守りください。

- コードレスホンの主装置または親機を本装置の近くに設置すると、電話が繋がらなかったり、通話に雑音が入ったりすることがありますのでご注意ください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ベンジン、シンナーなどで絶対にふかないでください。
汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
 - ・テレビ、ラジオ、こたつ、アンプ、スピーカボックスなど、磁気を帯びているところや電磁波が発生している場所。
- 本装置に接続する電話機等は、端末機器の技術基準適合認定を受けた電話機等を使用してください。
- 本装置は電話機等により使用出来ないものがあります。
(NTTと同等の呼び出し信号が必要な電話機等)
- ビジネスホンやホームテレホンの4線式の内線側には接続できません。接続する時は、外線側にしてください。
- 共同電話・地域集団電話・公衆電話・L電話機(高損失加入者用電話機)等には使用できません。
- LCRアダプタやキャット(CAT)は外線側に接続してください。
増設ベル等は内線側の電話機内線に並列に接続してください。
- 本装置は国内用に設計されています。電圧、交換方式の異なる海外では使用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。本装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、本装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本取扱説明書内の「⇒P ____」表示は、参照するページを表しています。

■ N T T への届け出

本装置をご使用にあたりましては、N T T への届け出が必要です。最寄りの N T T へご連絡ください。

本装置をご使用にあたって、N T T のレンタル電話機が不要となる場合は、N T T へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は、**不要となります。**詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

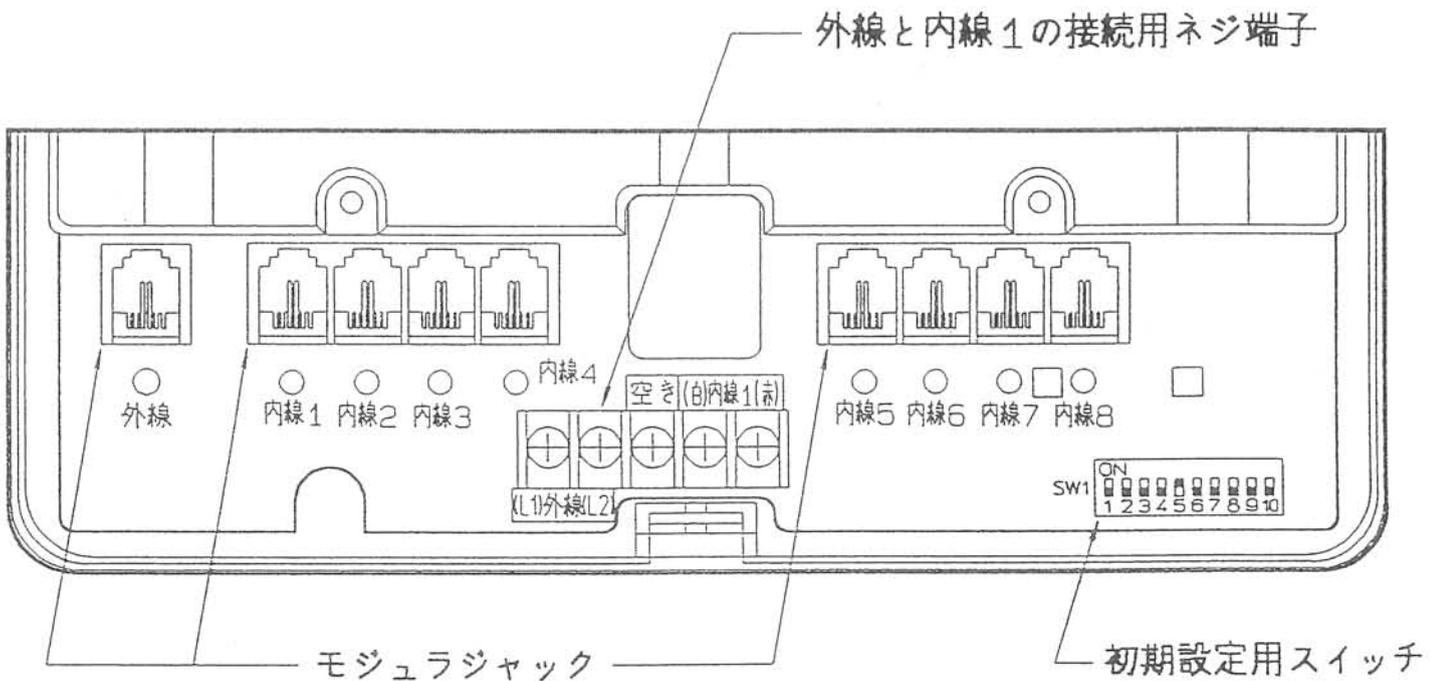
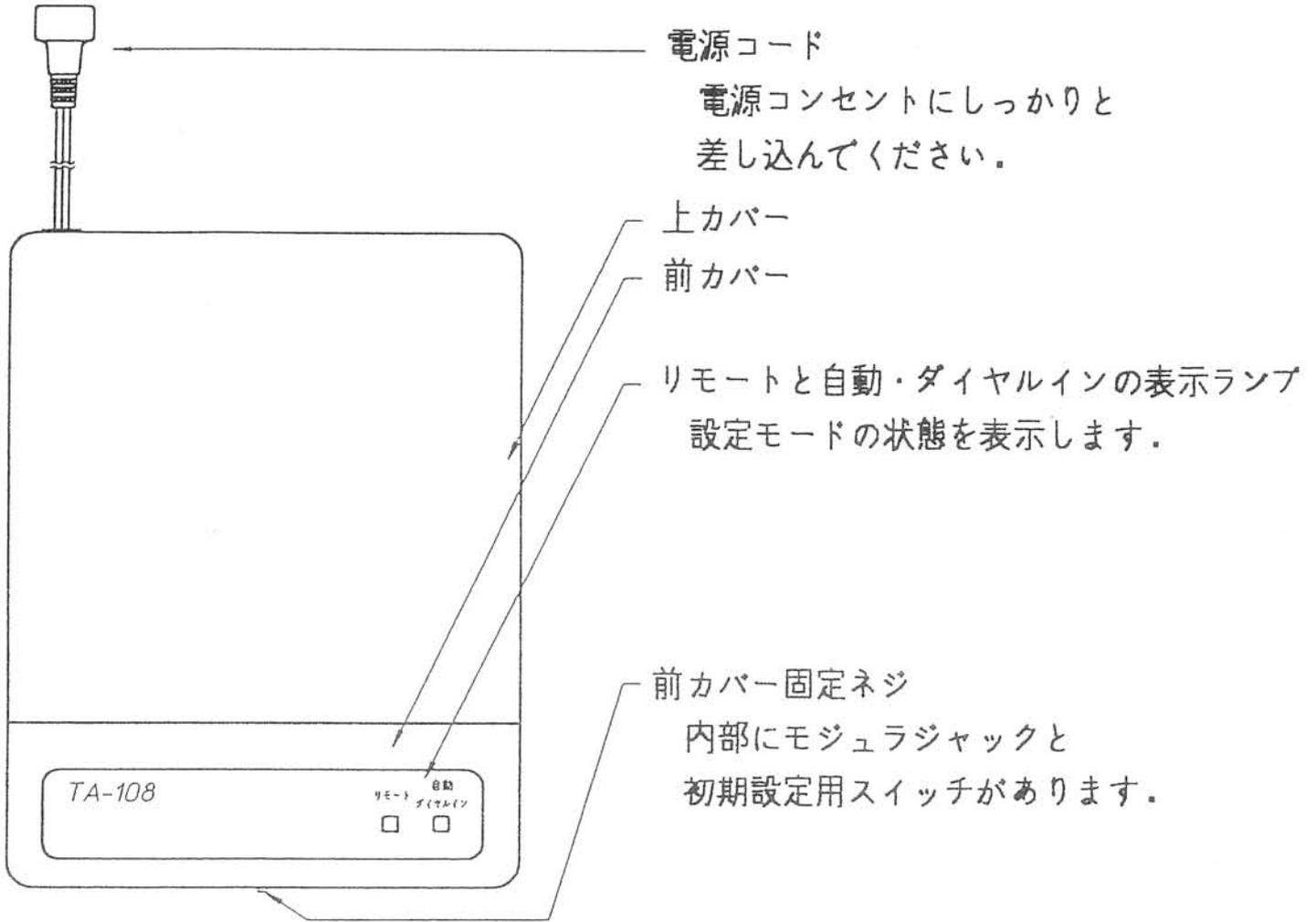
[電話料金の内訳]

- ①回線使用料 ご契約者名義等により住宅用と事務用に区分され、回線使用料が異なります。
- ②屋内配線使用料 保安器から屋内の電話機のさしこみ口までの屋内配線を N T T からレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
- ③**機器使用料** **N T T の電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。**
- ④付加機能使用料 プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

■ 目 次

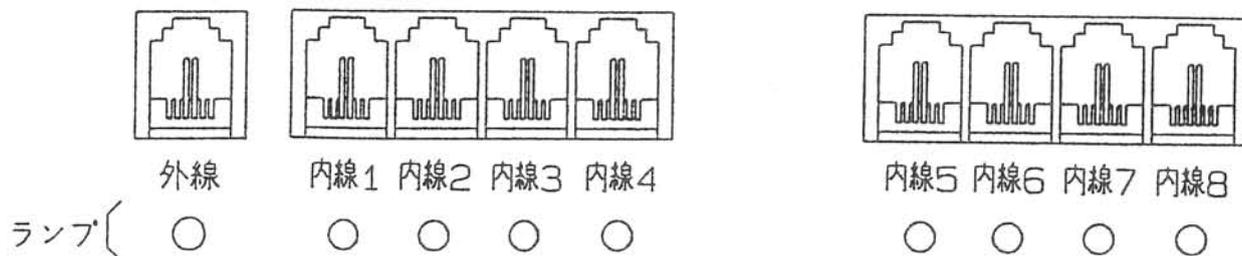
安全にお使いいただくために必ず ご使用に先立ってお読みください		2
■ N T T への届け出		6
1 各部のなまえとはたらき		7
2 内線機器の接続		
●通信カラオケ/電話/FAX の接続		8
●ピンク電話機の接続		8
●増設ベル、ピンク電話切替装置、LCRアダプター等の接続		10
3 リモートモードでの使い方		11
4 自動モードでの使い方		12
5 ダイヤルインモードでの使い方		13
6 ダイヤルインモードと 自動モードの併用		14
7 その他の使い方		
●電話の優先発信		15
●電話機の増設		15
●着信転送		15
●Fネットの無鳴動着信サービスを利用するとき		15
●システムデータを全て初期状態に戻すとき		15
8 初期設定用スイッチの設定		16
9 システムデータの登録		17
10 ダイヤルイン登録番号の確認		19
11 ランプによる状態表示		20
12 取り付け		21
13 困ったときのチェックポイント		22
14 ピンク電話の異常動作		24
■アフターサービス		25
■保証書		27
■仕様、■添付品		28

1. 各部のなまえとはたらき



2. 内線機器の接続

通信カラオケ／電話／FAX の接続



- 外線 : NTTの電話回線
 - 内線1 : 電話機、FAXまたは通信カラオケ
 - 内線2、3 : 電話機、通信カラオケ
 - 内線4～8 : 通信カラオケ専用
 - 外線ランプ : 外線の状態により点灯又は点滅します。 (⇒ P 20)
 - 内線ランプ : 内線の状態により点灯又は点滅します。 (⇒ P 20)
- (1～8)

ピンク電話機の接続

【NTT回線の極性確認】

- ・NTT回線はモジュージャックまたはネジ端子の「外線」に接続してください。
- ・極性は必ず「L1プラス」「L2マイナス」になるように接続してください。

《テスターがある場合》

- ・回線を接続して、ネジ端子の「外線」で確認してください。

《テスターがない場合》

- ・「外線ランプ」の表示で極性確認してください。

- ① NTT回線をモジュージャックまたはネジ端子の「外線」に接続してください。
- ② 本装置の電源を入れてください。
- ③ 内線1に電話機を接続して、受話器を上げて発信音「ツー」を聞いてください。
- ④ 「外線ランプ」の状態

- 点灯 ⇒ 正常
- 遅い点滅 ⇒ 逆接続

(NTT回線のラインを入れ替えて再度確認してください。)

お願い

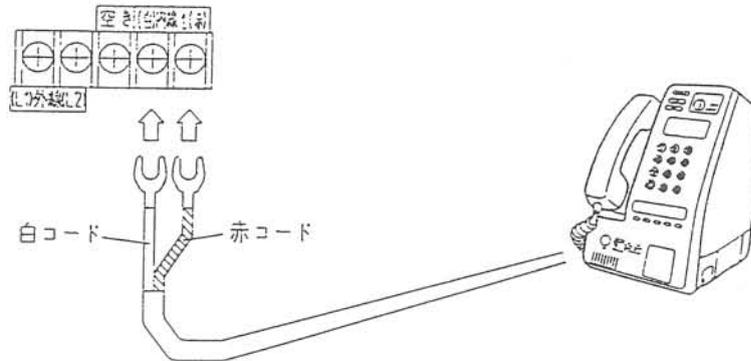
- ★「外線ランプ」で確認する時は、本装置の電源を入れないとNTT回線の極性は確認できません。
- ★電話機の受話器を上げて、発信音「ツー」が聞こえないときは、確認できません。配線を確認してください。
- ★ネジ端子への接続の場合には、電話工事担任者の資格又は電話工事担任者の資格者の監督下での接続が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

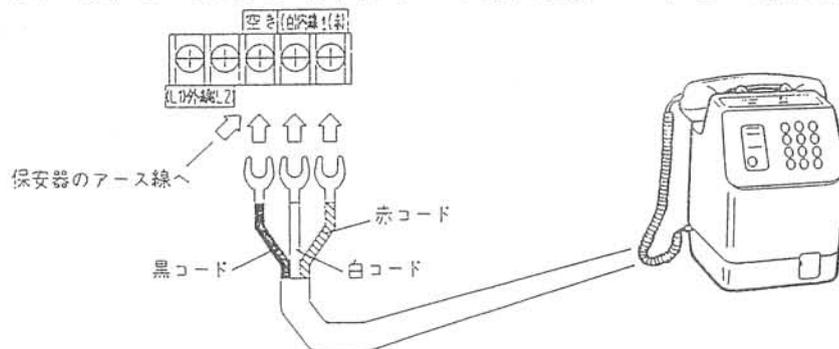
- テスターで極性を確認する時は、DC電圧モードで確認してください。
- NTT回線の電圧は、約DC48Vです。

【本装置との接続】

- ・ピンク電話機は、必ずネジ端子の内線1に接続してください。
 - ・ピンク電話機の白色のコードをネジ端子の「白」表示へ、赤色のコードを「赤」表示に接続してください。
- 反対に接続しますと、正常に動作しません。 (⇒P24)



- ・ピンク電話機の「100円プッシュ電話675P-VB」は、赤、白以外に黒色のコードがありますので以下の通り接続してください。
- 《黒コードがどこにも接続していなかった場合》
- ・本装置のネジ端子の「空」端子に黒コードを接続してください。
- 《黒コードが保安器のアース線に接続してあった場合》
- ・本装置のネジ端子の「空」端子にアース線と黒コードを一緒に止めてください。



【接続可能なピンク電話機の型名】

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------------|
| ・ 675S | ・ 675SA1 | ・ PT-1P | ・ PT-3CLN |
| ・ 675A1 | ・ 675SA2 | ・ PT-1PN | ・ PてれほんIII |
| ・ 675A2 | ・ 675P | ・ PT-2PW | ・ PT-51 |
| | ・ 675P-VB | ・ PT-12 | ・ NTTショップ電話 |
| | | ・ PT-4 | |

お願い

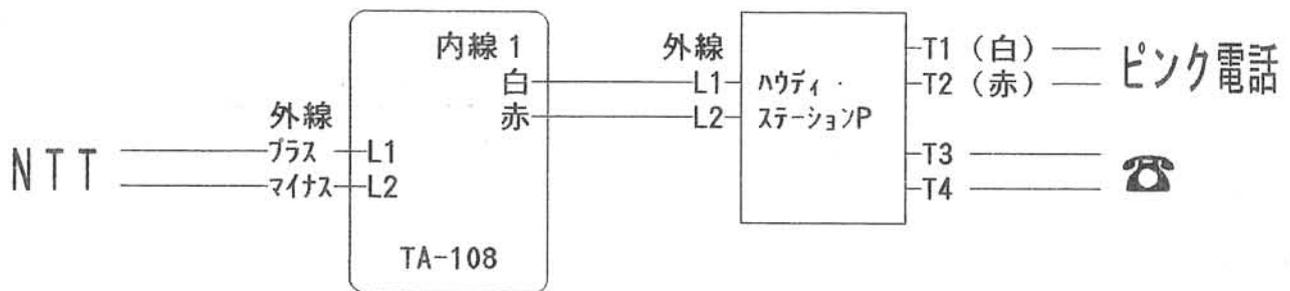
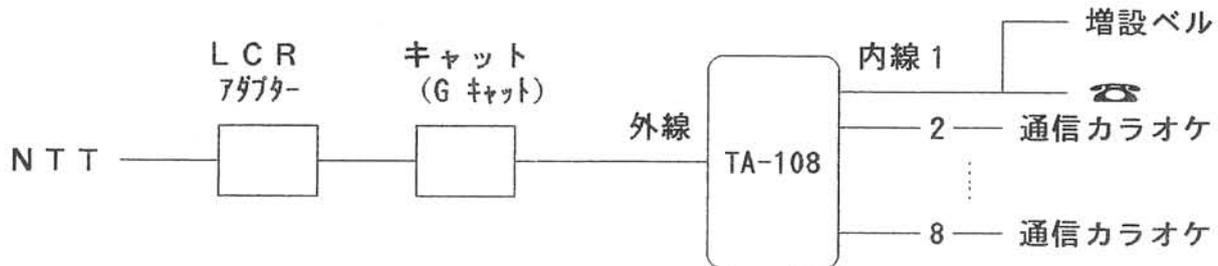
- ★「カード式ピンク電話機 MC-6」は、使用できません。
- ★PT-4 (PてれほんE) は、「内線1の優先発信」機能が正常に動作できません。 (⇒P15)
- ★NTT回線およびピンク電話機を接続したら、必ずピンク電話機の発信、着信の確認をしてください。
尚、確認は硬貨が必要な状態で行ってください。
- ★キー等での硬貨無しでの動作確認は避けてください。正常確認にはなりません。
- ★フリーダイヤル(「0120」)等の無料通話での動作確認は避けてください。

お知らせ

- 本装置のネジ端子の「空」端子は、装置内では、何処にも接続されていません。

増設ベル、ピンク電話切替装置、LCRアダプター等の接続

- 増設ベル、ピンク電話切替装置（NTT/ハウディ・ステーション P）、LCRアダプター を接続する場合は、接続する位置によって正常に動作しないことがあります。下図の位置に接続してください。



- 本装置の内線 1 とハウディ・ステーション P の外線を接続します。
- 本装置の内線 1 の「白」表示とハウディ・ステーション P の外線の「L1」表示を接続し、本装置の内線 1 の「赤」表示とハウディ・ステーション P の外線の「L2」表示を接続します。正常に接続しないと、動作しません。

お願い

- ★増設ベルが外線部分に接続されていると、本装置が自動応答した後に電話機を呼出しますが、この時に増設ベルは鳴りません。
- ★ネジ端子への接続の場合には、電話工事担任者の資格又は電話工事担任者の資格者の監督下での接続が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- 増設ベルを接続時、電話機をモジュージャックの内線 1 に接続して、増設ベルをネジ端子の内線 1 に接続しても正常に動作します。
- モジュージャックとネジ端子は、本装置内で接続されています。

3. リモートモードでの使い方（電話着信優先機能）

外線着信した場合、本装置が自動応答しないで直接「内線1」に着信しますので、相手を待たせず、単独電話と同じようにご使用いただけます。

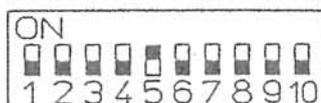
通信カラオケへの切替えは、リモートモードから自動モードに自動切替えしてから、PB信号により指定の内線呼び出します。

接続図



設定

初期設定用スイッチは初期設定の状態で使用できます。（SW5のみON）



使用方法

- 電話、FAXは必ず内線1に接続してください。通常にご使用できます。尚、通信カラオケが通信中の場合は、話中音が聞こえて使用できません。
- 設定により内線2、3にも電話を接続してご使用できます。（⇒P15）
- 着信時に内線1を約4.5秒間呼び出しても、内線1で応答しない時は、本装置が自動応答します。以後は「自動モード」を参照してください。（⇒P12）
- 通信カラオケの配信は、最初約4.5秒以上呼び出し、自動モードにしてから、次の着信で内線指定をします。
- 「リモートモード」から「自動モード」への切替時間「約4.5秒」は登録により変更できます。（⇒P18 NO.4）
- 着信時に自動応答するFAX、留守番電話等の場合は「自動モード」でご使用ください。（⇒P12）

お願い

★NTT回線から本装置の外線に接続される線の極性は、必ずL1プラス、L2マイナスにしてください。FAXの種類によっては発信ができない場合があります。（⇒P8）

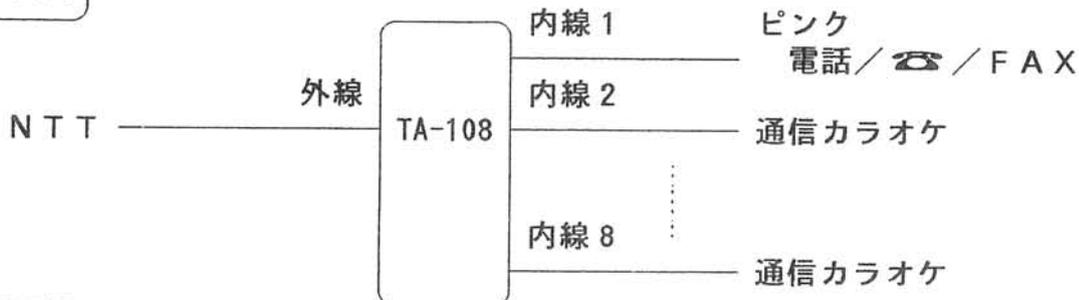
お知らせ

- 「リモートモード」から「自動モード」に切り替わった時は、内線1を使用する事により「リモートモード」に戻ります。
- 着信時、本装置が自動応答した時点から相手側には通話料金がかかります。
- 本装置が自動応答すると、相手には呼出音（トッルル-トッルル-音）を返します。
- 停電時は内線1が外線と直通になりますので、通信カラオケへの切替機能は使用できません。よって、通信カラオケへの配信はできません。

4. 自動モードでの使い方 (自動切替機能)

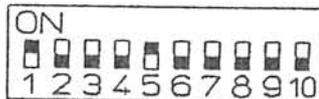
外線着信した場合、本装置が自動応答して相手からのPB信号で指定の内線に着信します。
相手からのPB信号が無いときは、約3秒後に内線1の電話機を呼び出します。

接続図



設定

- 初期設定用スイッチのSW1をONにします。(SW1, 5のみON) (⇒P16)



使用方法

- 電話、FAXは必ず内線1に接続してください。通常にご使用できます。尚、通信カラオケが通信中の場合は、話中音が聞こえて使用できません。
- 設定により内線2、3にも電話を接続してご使用できます。(⇒P15)
- 通信カラオケへの配信は、本装置が自動応答した後、相手からのPB信号(1#~8#)により着信します。
- 特定ID(PB信号)は登録により変更できます。(⇒P18 NO.2)
- 着信時に内線を約60秒呼び出しても、内線で応答しない時は回線を切断します。呼出時間は登録により変更できます。(⇒P18 NO.6)
- PB信号検出時間は登録により変更できます。(⇒P18 NO.5)

お願い

★NTT回線から本装置の外線に接続される線の極性は、必ずL1プラス、L2マイナスにしてください。FAXの種類によっては発信ができない場合があります。(⇒P8)

お知らせ

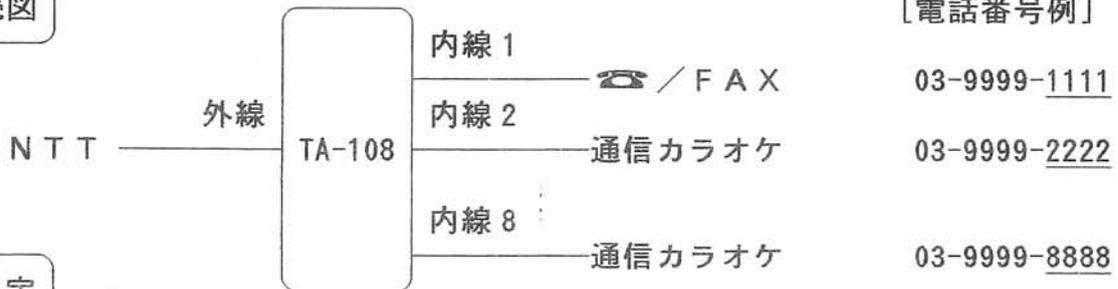
- 着信時、本装置が自動応答した時点から相手側には通話料金がかかります。
- 本装置が自動応答すると、相手には呼出音(トッル-トッル-音)を返します。
- 停電時は内線1が外線と直通になりますので、通信カラオケへの切替機能は使用できません。よって、通信カラオケへの配信はできません。

5. ダイヤルインモードでの使い方

NTTへの手続き

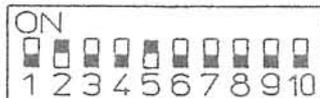
- ・ダイヤルインサービスは、一部地域によってご利用できない場合がありますのでお近くのNTTへお問い合わせください。
- ・NTTにダイヤルインサービスの利用を申込み、今までの電話番号を含め、最大8つの電話番号を契約してください。（送出桁数は、必ず4桁で申し込んでください。）
- ・NTTの電話局内工事が終わったら設定、登録した本装置を設置してください。

接続図



設定

- ・初期設定用スイッチSW2をONにして「ダイヤルインを利用する」にしてください。（SW2、5のみON）（⇒P16）



- ・使いたい内線にダイヤルイン番号を必ず登録してください。（「システムデータの登録」により、使いたいダイヤルイン番号の下4桁を登録します。⇒P17、P18 NO. 1）
- 例）内線1を03-9999-1111にする場合 ⇒ 『9+1+1111』とダイヤルします。

使用方法

- ・ダイヤルイン番号を登録した内線に直接着信します。
- ・発信は、通常にご使用できます。
- ・1つの内線が使用中の場合には、他の内線は話中音が聞こえ使用できません。

お願い

★電話局内工事が終わった時点で、今までの電話回線はダイヤルイン回線に変わります。本装置を設置しないと、外線発信はできますが外線着信に应答することができなくなりますので、できるだけ早く設置してください。

お知らせ

- キャッチホン・トリオホン・転送電話・ピンク電話等のNTTサービスはご利用できません。
- 電話局内の工事費と毎月の使用料が必要になります。

■使用上の注意

お知らせ

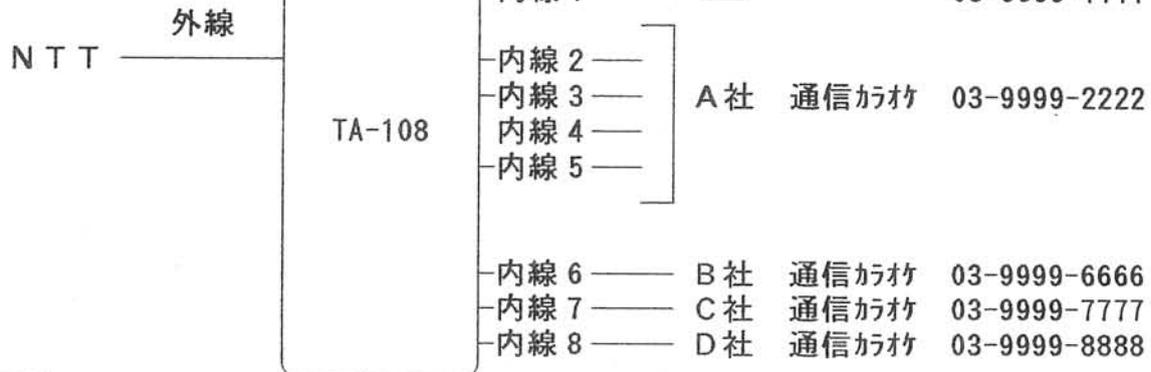
- 停電時には、内線1からの発信はできますが、着信はできません。

6. ダイヤルインモードと自動モードの併用

ダイヤルインサービスで運用すると自動モードを併用できますので、ダイヤルイン番号を減らし毎月のダイヤルイン使用料を軽減することができます。

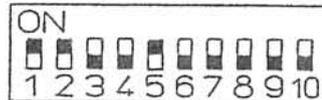
〔例〕 A社通信カラオケを自動モードで運用し、B、C、D社通信カラオケをダイヤルインで運用する場合。

接続図



設定

初期設定用スイッチのSW1、2をONにします。(SW1,2,5のみON) (⇒P16)



「システムデータの登録」により、内線1、6～8にダイヤルイン番号の登録をします。

(⇒P18 NO.1)

『9 + 内線番号 + ダイヤルイン番号』 例) 内線1 『9 + 1 + 1 1 1 1』
 内線6 『9 + 6 + 6 6 6 6』
 内線7 『9 + 7 + 7 7 7 7』
 内線8 『9 + 8 + 8 8 8 8』

☆内線2～5は、ダイヤルイン番号を絶対に登録しないでください。登録しない事により、この内線は自動モードの運用になります。

着信方法

- ・内線1、6～8への着信は、ダイヤルイン番号で直接着信します。
- ・内線2～5への着信は、「自動モードでの使い方」になります。(⇒P12)

お願い

- ★自動モードで切替えできる通信カラオケは、ホストから送出されるPB信号が、本装置にある特定ID(1#, #11, 01#, 11)のみご使用できます。その他はご使用できません。詳細については、販売店までご相談ください。
- ★特定IDに変更する時は、特定IDを登録後に各内線のダイヤルイン番号を登録します。

7. その他の使い方

電話の優先発信

【設定・使用方法】

- ・内線1に電話・FAXを接続し、初期設定用スイッチSW4をON「優先にする」にしてください。(⇒P16)
- ・内線1以外が通信中でも内線1の受話器を上げると、強制的に切断して発信できます。

☆ピンク電話PT-4 (PTEPHONE) は、正常に優先発信ができません。

お知らせ

- 内線1に発信音が聞こえるまでに、約3～6秒かかります。
- 切断された内線は無音になります。
- 内線1を優先発信にする時は、内線2、3に電話機を接続しないでください。

電話機の増設

【設定・使用方法】

- ・内線2、3にも電話機を接続できます。
- ・初期設定用スイッチSW6、7をONにすると、内線1、2、3が同時に着信します。(⇒P16)
- ・SW5、6、7をOFF「鳴動しない」にすると、PB信号で指定しないかぎり着信しません。

着信転送

【設定・使用方法】

- ・システムデータで「着信転送あり」にしてください。(⇒P18 NO.7)

- ①. 内線1～3で着信通話中に下記の番号をダイヤルします。
「9」+「内線番号」(例：内線3への転送は「93」をダイヤル。)
- ②. 転送先が呼び出され、操作した内線は話中音になります。
(外線には呼出音が聞こえます。)
- ③. 転送先の応答により外線との通話になります。
(約30秒経過しても応答しないと、切断します。)

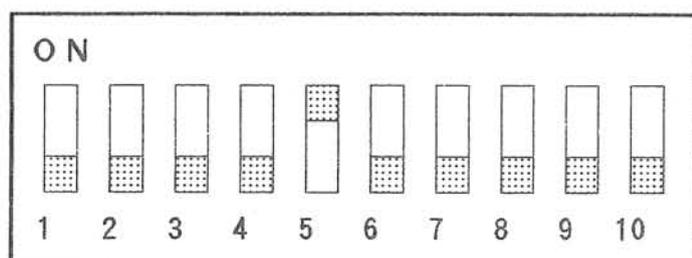
Fネットの無鳴動着信サービスを利用する時

- ・初期設定用スイッチSW3をONにしてください。(⇒P16)
- ・FAXは必ず内線1に接続してください。
- ・FAX本体がFネットの無鳴動着信サービス機能がないと使用できません。

システムデータを全て初期状態に戻すとき

- ・システムデータで初期値化してください。(⇒P18 NO.12)

8. 初期設定用スイッチの設定



ON

OFF

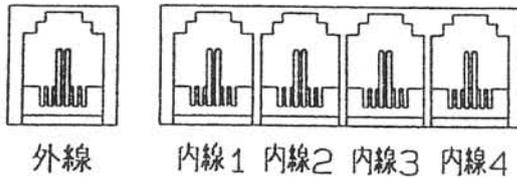
工場出荷時は、SW5のみ
ONに設定されています。

NO	機能	スイッチの設定
1	自動／リモートのモード切替 「リモートモード」はOFF。(⇒P11) 「自動モード」はON。(⇒P12)	自動モード  リモートモード 
2	ダイヤルインサービスでの利用 NTTのダイヤルインサービスを利用する時はON。(⇒P13, 14)	利用する  しない 
3	ノーリング信号の受信 ノーリング信号(NTTのFネットサービスの無鳴動着信信号1300Hz)を使用する時はON。(⇒P15)	受信する  しない 
4	内線1番の優先発信 内線1を優先発信する時はON。(⇒P15)	優先にする  しない 
5	内線1番の着信鳴動 外線着信時に内線1を鳴動する時はON。(⇒P15)	鳴動する  しない 
6	内線2番の着信鳴動 外線着信時に内線2を鳴動する時はON。(⇒P15)	鳴動する  しない 
7	内線3番の着信鳴動 外線着信時に内線3を鳴動する時はON。(⇒P15)	鳴動する  しない 
8	未使用	SW8、9は必ずOFFで使用してください。
9	未使用	
10	システムデータの登録 システムデータを登録する時はONにします。 登録後は必ずOFFに戻してください。(⇒P17)	登録  運用 

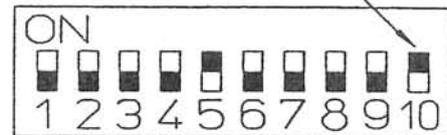
9. システムデータの登録

準備

- ①. お手持ちの電話機を内線1に接続してください。
- ②. 初期設定用スイッチのSW10をONにしてください。(⇒P16)
- ③. 本装置の電源コードをAC100Vコンセントに差し込んでください。



スイッチ10をONにする



初期設定用スイッチ

登録

内線1に接続した電話機からダイヤルして登録します。

1	受話器を上げます。 『ブザー ブザー……』という音が聞こえます。
2	登録番号をダイヤルします。 登録されると『プププ』という確認音が聞こえたあと、 『ブザー ブザー……』という音に変わります。
3	受話器をおろします。

お知らせ

- システムデータ登録中は、モードランプが両方とも消灯します。
- 内線1の受話器を上げ、登録番号をダイヤルする前に内線ランプが点灯しますが故障ではありません。
- 『プー、プー、……』という話中音になった時は登録されていないので初めから登録をやり直してください。
- 登録は連続して行えます。「ガガ」という確認音が聞こえたあと「ブザー ブザー……」という音が聞こえたら次の登録番号をダイヤルしてください。
すべての登録が終わったら受話器をおろしてください。
- 登録は、上書き出来ます。
- 本装置の電源が切れても、変更したデータは故障等しない限り、保持されます。

★登録後は、スイッチSW10を必ずOFFに戻してください。

システムデータ一覧表

『 』内が登録する番号です。
(時間は「およそ」で表しています。)

NO	機 能 名	初 期 値	登 録 番 号
1	ダイヤル番号の登録 (任意IDの登録) (⇒P13、14)	1#～8# 『9000』	『9+内線番号+××××』 ××××はダイヤル番号の下4桁。 (任意ID時は1～4桁の番号)
2	特定IDの登録 (⇒P12、14)	1#～8# 『9000』	11～88 #11～#88 01#～08# 『9001』 『9002』 『9003』
3	ダイヤル番号の確認 (⇒P19)	—	『901+内線番号』
4	リモートモードから 自動モードへの切替時間 (⇒P11)	45秒 『63』	15秒 21秒 30秒 『60』 『61』 『62』
			60秒 90秒 120秒 『64』 『65』 『66』
5	自動応答時の PB信号検出時間 (⇒P12)	3秒 『40』	5秒 7秒 10秒 『41』 『42』 『43』
			15秒 25秒 『44』 『45』
6	自動モード時の内線呼出時間 (⇒P12)	60秒 『72』	30秒 45秒 『70』 『71』
			90秒 120秒 『73』 『74』
7	着信転送の登録 (⇒P15)	なし 『9060』	あり 『9061』
8	リモートモード時の「自動モードから リモートモード」への解除方法	内線発着信 『9040』	常に解除 『9041』
9	PB信号検出時間中の 呼出音(RBT)の送出	送出する 『9050』	送出しない 『9051』
10	内線端末の切断監視時間	1.5秒 『9020』	0.1秒 『9021』
11	相手からの PB信号の桁間時間	0.3秒 『9030』	0.5秒 1秒 『9031』 『9032』
			2秒 3秒 『9033』 『9034』
12	全データの初期値化 (⇒P15)	—	『9900』

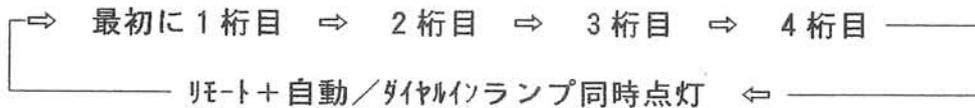
機能の詳細については、
販売店等にお問い合わせ
ください。

10. ダイヤルイン登録番号の確認

内線に登録した4桁のダイヤルイン番号や任意のID番号をランプ表示で確認できます。

確認方法

- ・「システムデータの登録」において、『901+内線番号』をダイヤルします。
- ・外線、内線、モードランプの点灯により登録されているID番号を表示します。
- ・ランプ点灯の順番は下記の通りです。点灯及び間隔時間は約1.5秒です。



- ・ランプ点灯は、次のシステムデータをダイヤルするか内線1の受話器を置くまで繰り返し点灯します。

登録IDとランプ対応

ランプ	外線	内線 1	内線 2	内線 3	内線 4	内線 5	内線 6	内線 7	内線 8	自動/ ダイヤル (LED10)
登録ID	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

: 外線+内線1ランプ同時点灯
 * : 外線+内線2ランプ同時点灯
 登録なし : 内線1～8 ランプ同時点灯

(例1) 内線1に「0123」を登録した時のID確認

- ① 初期設定用スイッチSW-10をON。(⇒P16、17)
- ② 内線1の受話器を上げる。
- ③ 『9011』をダイヤルする。
- ④ ランプが点灯する。

「0」 —— 外線 ランプ点灯
 「1」 —— 内線1ランプ点灯
 「2」 —— 内線2ランプ点灯
 「3」 —— 内線3ランプ点灯
 終了 —— リモート+自動/ダイヤルランプ同時点灯

(例2) 初期値の内線2のID確認 (初期値のIDは「2#」)

- ① 初期設定用スイッチSW-10をON。(⇒P16、17)
- ② 内線1の受話器を上げる。
- ③ 『9012』をダイヤルする。
- ④ ランプが点灯する。

「2」 —— 内線2ランプ点灯
 「#」 —— 外線+内線1ランプ同時点灯
 IDなし —— 内線1～8 ランプ同時点灯
 IDなし —— 内線1～8 ランプ同時点灯
 終了 —— リモート+自動/ダイヤルランプ同時点灯

1 1 . ランプによる状態表示

外線、内線のランプ表示により使用中等の状態がわかります。
又、NTT回線の極性が外線のランプ状態によりチェックできます。

外線ランプ

動作状態	ランプ表示
着信中 (1300Hz着信中)	早い点滅 (240ipm)
ダイヤルイン着信中	遅い点滅 (30ipm)
自動応答中	遅い点滅 (30ipm)
着信通話中	点灯
ダイヤル中 (NTTの発信音聴取中)	配線時にL1プラスの時は点灯 配線時にL1マイナスの時は遅い点滅 (30ipm)
発信通話中 (極性反転する場合)	配線時にL1プラスの時は遅い点滅 (30ipm) 配線時にL1マイナスの時は点灯
待機中、外線未接続	消灯

☆フリーダイヤル等の無料通話への発信時は、極性反転しません。

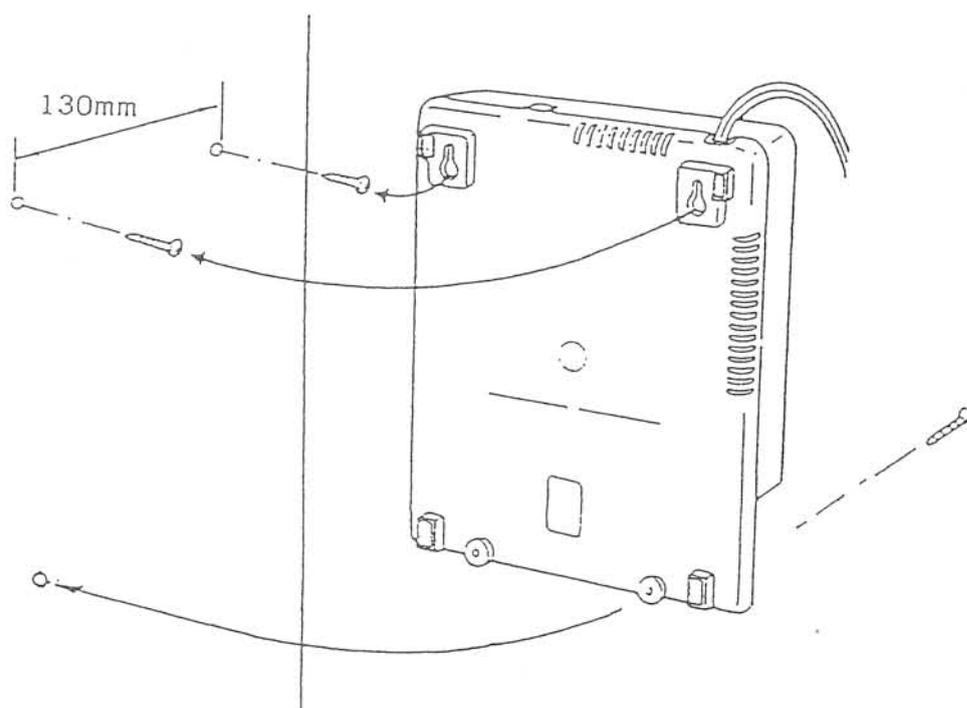
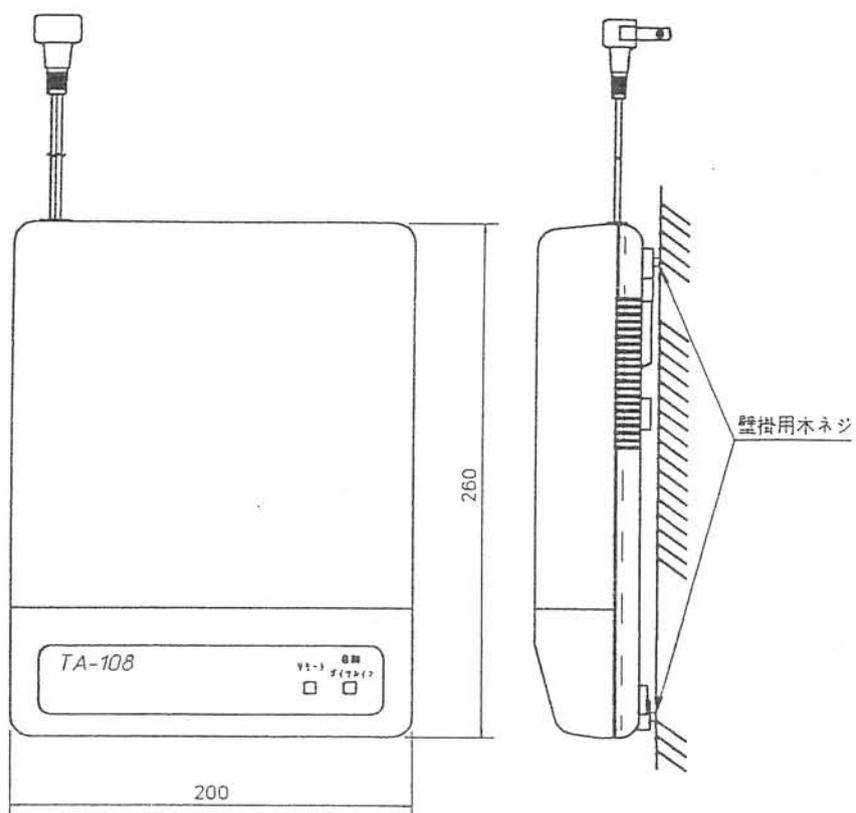
内線ランプ

動作状態	ランプ表示
着信中 (1300Hz着信中)	早い点滅 (240ipm)
話中音聴取中、受話器外し	遅い点滅 (30ipm)
ダイヤル中、通話中	点灯
待機中	消灯

☆1300Hzの着信は、内線1のみです。(⇒P15)

1 2 . 取 り 付 け

- 本装置は卓上設置と壁掛け設置の2通りの方法があります。
- 壁掛け設置の場合には、添付の木ネジを下記の用にご使用ください。



1 3 . 困ったときのチェックポイント

症 状	確 認 事 項
ピンク電話に硬貨を入れても何も聞こえず発信できない。	<p>外線がL1プラス、L2マイナスになっていますか？ 極性を入れかえてみてください。(⇒P8)</p> <p>ピンク電話機の白色コードをネジ端子の「白」表示に、赤色コードをネジ端子の「赤」表示に接続してください。 逆になっていると正常に使用できません。 「白」表示はプラス、「赤」表示はマイナスになっています。(⇒P9)</p>
コードレスピンク電話機の硬貨投入ができない。	外線側とピンク電話の赤、白の両方が逆です。 両方入れ替えてください。(⇒P8、9、24)
FAXの着信はできるが、発信できない。	外線がL1プラス、L2マイナスになっていますか？ 外線の極性を入れかえてみてください。(⇒P8)
FAXの発信はできるが、着信ができない。	FAXは内線何番に接続していますか？ FAXは必ず内線1に接続してください。
FAXを本装置に接続しただけで、FAXが受信状態となる。	FAXの「Fネットサービス(1300Hz)の利用」を解除してください。詳細についてはFAXの販売店等にお問い合わせください。
電話機、FAX等の発信ができない。	通信カラオケ等が使用中ではありませんか？ (その場合は話中音が聞こえます。)
発信・着信ができない。	スイッチSW10がONになっていませんか？ (リモート/自動のランプが両方消えていませんか？) システムデータ登録後はOFFに必ず戻してください。
内線1しか使えない。	電源コードが抜けていませんか？ (リモート/自動のランプが両方消えていませんか？)
停電時に使用できない。	内線1を使用していますか？ その他の内線はご使用できません。
増設ベルが1～2回で止まってしまう。	増設ベルは内線の電話機に並列に接続してください。 (⇒P10)
モデム通信が時々エラーになる。	<p>キャッチホンサービスをご利用になっていますか？ キャッチホンサービスをご利用になりますと、モデム通信中に他からの着信でキャッチホン信号が入り、モデム通信エラーになります。 キャッチホン信号が消せる「キャッチホンII」をご利用ください。詳しくはお近くのNTTにお問い合わせください。</p>

症 状	確 認 事 項
<p>着信テストでうまく切替わらない。 (外から電話して、内線IDのPB信号を送出しても切り替わらない)</p>	<p>内線ID (1#, 01#等) の送出手はすばやく行ってください。 (例) 01#を送出する場合 0, 1, #の送出間隔はそれぞれ0.3秒以内にしてください。 0.3秒以上になると正しく切替わりません。 0.3秒を長くしたい時は、システムデータにて桁間時間を変更してください。 (⇒P18 NO.11)</p>

1.4. ピンク電話の異常動作

★主なピンク電話の誤配線と異常動作の関係

配線状態 ピンク電話種類	ピンク電話側逆	外線側逆	外線、ピンク電話両方逆
	外線 内線1 L1+ 赤表示に白コード L2- 白表示に赤コード	外線 内線1 L1- 赤表示に赤コード L2+ 白表示に白コード	外線 内線1 L1- 赤表示に白コード L2+ 白表示に赤コード
ダイヤル式 ピンク電話 (675-A1)	着信：通話可能 発信：硬貨無しで発信音聞こえる。 硬貨投入しても出てくる。	着信：通話可能 発信：硬貨投入で収納されてしまう。	着信：通話可能 発信：硬貨無しで発信音聞こえる。 硬貨投入しても出てくる。
押し式 ピンク電話 (675P-VB)	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：通話可能 発信：硬貨投入しても無音で不可。
Pてれほん (PT-1P)	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：通話可能 発信：硬貨投入しても無音で不可。
コードレス Pてれほん (PT-3CLN)	着信：無音で通話不可 LCD表示 「ホナジキマセン」 発信：硬貨投入しても無音で不可。 LCD表示 「シバクオマチクダシ」	着信：無音で通話不可 LCD表示 「ホナジキマセン」 発信：硬貨投入しても無音で不可。 LCD表示 「シバクオマチクダシ」	着信：通話可能 発信：通常と異なるができてしまう。 LCD表示 「シバクオマチクダシ」で発信音聞こえ、 「コウカイルテクダシ」 硬貨投入で通話可能 但し、子機側でオフフック後は無音で着信後は上記に戻る。
	子機側	着信：無音で通話不可 発信：無音で警告音が鳴る。	着信：無音で通話不可 発信：無音で警告音が鳴る。
PてれほんE (PT-4)	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：通話可能 発信：硬貨投入しても無音で不可。 但し、最初の1回だけ発信音が聞こえる。
PてれほんF (PT-51)	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：無音で通話不可 発信：硬貨投入しても無音で不可。	着信：通話可能 発信：通話可能

☆ピンク電話は、外線のL1プラス、L2マイナスとピンク電話の赤、白コードを必ず正しく接続してください。(⇒P 8, 9)

■ アフターサービス

●保証書

この商品の保証書は本取扱説明書の巻末に印刷されています。必ず「お買い上げ店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間はお買い上げの日から1年間です。

●保証期間中に修理を依頼される時

下記の内容をお確かめのうえ、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

〈ご連絡いただきたい内容〉

1. ご住所、お名前、電話番号
2. 品名、お買い上げ日（保証書をご覧ください）
3. 故障内容（できるだけ詳しく）

また、保証期間中のアフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。

●保証期間経過後修理を依頼される時

お買い上げいただきました販売店にご相談ください。修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

仕 様

使 用 電 圧	AC100V±10V (50/60Hz)
消 費 電 力	待機時 約7W、 使用時 約11W、 最大時 約15W
外線数 / 内線数	1 / 8
接 続 方 法	モジュラージャック、ネジ端子 (外線、内線1)
寸法：幅×奥行×高さ	約200×260×58mm
質 量	約1.5kg
使 用 環 境	温度：0～40℃、 湿度：35～80%

添 付 品

- ◆取扱説明書 1部
- ◆モジュラーコード 1本
- ◆壁掛用木ネジ 3個

〔製造元〕 株式会社 **高見澤電機製作所**

〔販売元〕 株式会社 **テック**

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-22-17 TOCビル10F
 ☎ 03-3494-4038 FAX 03-3495-2309

⚠ ご注意 P26、P27はメモページおよび保証書ページのため、このPDFからは削除しています。